

平成22年度 地域包括支援センター事業計画(重点取組)

資料1-2

	府中市		あさひ苑		しみずがおか		よつや苑	
地域の状況	人口 65,504人 高齢者人口 12,430人 高齢化率 19.0%		人口 37,490人 高齢者人口 6,089人 高齢化率 16.2%		人口 28,009人 高齢者人口 5,009人 高齢化率 17.9%		人口 37,238人 高齢者人口 6,518人 高齢化率 17.5%	
人員体制	センター長 1名 保健師 7名 主任介護支援専門員 2名 社会福祉士 2名 事務 4名	計16名	センター長 1名 看護師1名 (非常勤保健師1名) 主任介護支援専門員 1名 社会福祉士2名 (内非常勤1名) 介護支援専門員2名 (内非常勤1名) 事務 1名 (内非常勤1名)	計10名 (非常勤4名)	センター長 1名 保健師 1名 主任介護支援専門員 1名 社会福祉士 3名 管理栄養士 1名 事務 1名	計8名	センター長 1名 看護師 1名 主任介護支援専門員 2名 社会福祉士 2名 介護支援専門員 2名 事務 0名	計8名
重点取組み項目	総合相談支援	(1)見守りネットワーク事業の普及拡大により、連絡相談しやすい地域づくりを推進する。 (2)災害時要援護者支援事業を通じ要援護高齢者の実態把握を進め、災害時の支援体制を整備します。	(1)民生委員を初め地域関係者と連携し、災害時要援護高齢者の実態把握を進める。 (2)積極的な訪問活動を行い、問題を抱える高齢者へ早期介入を図る。	(1)民生委員をはじめ、自治会、老人会、さらには地域のさまざまな活動体との情報交換により、地域の実情を的確に捉え、潜在している保健・福祉ニーズの掘り起こしを目指しつつ、良質な情報提供に努める。 (2)見守りネットワーク事業の普及拡大はもとより、法人としてのノウハウ(まちづくり等)を生かしつつ、連絡相談しやすい地域づくりを推進する。	(1)相談の受付は、併設施設の利点を活かし、24時間体制をとる。 (2)日常生活圏域における、高齢者の多様化する新たなニーズに対し、適切かつ具体的な調整と対応をとる。			
	権利擁護	(1)介護関係機関の高齢者虐待防止、通報義務等についての研修を行い、早期発見につなげる。 (2)成年後見制度を活用し、判断能力の乏しい高齢者の権利擁護をはかる。 (3)認知症サポーター「ささえ隊」の養成により、認知症への理解を深め、認知症者の尊厳を守ることへの啓発を行う。	(1)見守りネットワークを地域に広げ、虐待や介護放棄(自己放任を含む)の予防に努める。 (2)高齢者地域支援連絡会・認知症サポーター養成や家族介護者教室・認知症介護者サロンを有効に利用して、認知症になっても住み慣れた地域で生活できるような地域作りを進める。	(1)介護関係機関の高齢者虐待防止、通報義務等についての研修を行い、早期発見につなげる。 (2)市民後見人制度を活用し、判断能力の乏しい高齢者の権利擁護をはかる。 (3)認知症サポーター「ささえ隊」の養成により、認知症への理解を深め、認知症者の尊厳を守ることへの啓発を行う。 (4)法人固有の権利擁護のノウハウを生かし、(2)同様、成年後見制度の利用支援も含め多方面からのサポート体制により実施していく。	(1)高齢になっても安心して暮らせるためのセイフティーネットとして、早期発見・課題解決のシステムを構築する。 (2)権利擁護センターとの連携を図り迅速な問題解決を行う。 (3)「見守りネットワーク」「認知症サポーター」の普及・啓発を地域福祉のまちづくりと考え、推進する。			
	包括的・継続的マネジメント支援	(1)在宅介護支援センターと連携した地域支援ネットワークの充実をはかる。 (2)担当地区ケア会議の効率的・効果的な開催による支援体制の強化 (3)各包括支援センターの主任ケアマネジャーを中心とした、ケアマネ支援の体制構築と、ケアプラン指導を行う。	(1)ケアマネ向け担当地区ケア会議を計画的(年間9回予定)に開催し、情報交換や事例検討会を行い、居宅支援事業所をはじめサービス提供事業所との連携を深める。	(1)在宅介護支援センターと連携した地域の支援ネットワークの充実をはかる。 (2)担当地区ケア会議の効率的・効果的な開催による支援体制の強化	(1)高齢者地域支援連絡会開催等で地域の協力関係向上と把握を進める。 (2)担当地区ケア会議での問題整理能力を向上させる。 (3)ささえ隊の有志による、住民主体の地域づくりを後方支援していく。			
	介護予防ケアマネジメント	(1)予防事業の効率的効率的運営 (2)介護予防支援業務の円滑な運営及びマネジメント力向上	(1)介護予防支援業務の確実な遂行 (2)ケアマネジメント力の向上 (3)年間20回の介護予防講座、7か所のほっとサロン、3か所の自主グループ、2か所の介護予防料理教室を実施し、対象エリアにくまなく事業がいきわたるようにする。	(1)7か所中6か所の介護予防グループの自立化へ向けた事業展開をはかる。 (2)介護予防支援業務の円滑な運営及びマネジメント力向上をはかる。	(1)担当エリアの地区ごとで個別ニーズに対応した介護予防事業を展開する。 (2)老人クラブを中心とした介護予防の普及啓発活動を積極的に行う。			

センター名	泉苑		安立園		かたまち	
地域の状況	人口 25,398人 高齢者人口 5,340人 高齢化率 21.0%		人口 31,463人 高齢者人口 6,363人 高齢化率 20.2%		人口 20,334人 高齢者人口 3,344人 高齢化率 16.4%	
人員体制	センター長 1名 看護師 1名 主任介護支援専門員(兼務) 1名 社会福祉士 2名 介護支援専門員 2名 介護福祉士 1名	計7名	センター長 1名 看護師 1名 主任介護支援専門員 1名 社会福祉士 1名 介護支援専門員 2名 相談員・事務 3名	計9名	センター長 1名 保健師 1名 主任介護支援専門員 1名 社会福祉士 2名 介護支援専門員 4名(非常勤2名) 事務 1名	計10名 (非常勤2名)
重点取組み項目	総合相談支援	(1)民生委員・関係機関と連携し、災害時要援護高齢者も含め地域住民の実態把握、問題の早期発見、支援に努める。 (2)地域住民からも情報が得られるよう、地域に包括支援センターの役割の理解を深める。	(1)高齢者地域支援連絡会を定期的開催し、地域の抱える問題点を整理し、解決への仕組み作りに取り組む。 (2)これまでの防災への取組みを継続し、市の災害時要援護者対策事業と協働しつつ実態把握訪問を計画的に実施する。特に一人暮らし後期高齢者の把握率を高める。	(1)地域包括支援センターの周知活動のため広報誌の配布枚数を増やしていく。 (2)本人・家族・近隣住人・見守りネットワーク等を通じさまざまな相談に応じ専門性や緊急性に即した対応を行う。 (3)災害時要援護者への訪問を行い実態把握に努める。		
	権利擁護	(1)関係機関との連携、見守りネットワークの拡大により、高齢者虐待の早期発見に努める。 (2)権利擁護センターと連携をとり、地域福祉権利擁護事業、成年後見制度利用等の情報提供、適切な支援につなげる。 (3)地域住民に認知症に対する正しい知識と理解を広め、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりをする。	(1)認知症サポーター養成講座ならびに認知症研究者を交えての介護者教室を定期的開催する。また高齢者地域支援連絡会や介護予防講座などの機会に認知症を支える地域力をテーマに取り上げ、地域作りに努める。 (2)今年度は店舗廻りを重点的に実施し、見守りネットワーク事業を広め虐待や認知症の早期発見に努める。解決に向けて関係機関との連携を強化する。	(1)見守りネットワーク、高齢者地域支援連絡会の機能を十分に活かし、虐待の早期発見、早期対応に努める。 (2)高齢者地域支援連絡会、認知症サポーター養成講座を通じ、認知症の理解者を増やして、認知症を抱えても安心して暮らせる地域づくりを目指す。 (3)権利擁護センターと連携を図り、支援体制を早期に整える。		
	包括的・継続的マネジメント支援	(1)担当地区ケア会議を開催し、情報交換や事例検討を行い、居宅支援事業所やサービス提供事業所との連携を強化する。 (2)市内各包括支援センターの主任ケアマネジャーを中心にケアマネジメント指導を実施する。	(1)情報交換会の開催・担当者会議への積極的参加等により関係機関との連携を強化する。 (2)担当地域ならびに介護予防委託事業所の介護支援専門員との研修会・事例検討会を実施	(1)高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう地域のネットワークを強化しながら、高齢者地域支援連絡会を充実させる。 (2)担当地区ケア会議を通じ各専門職との連携を図り、システム化していく。 (3)地域にあるインフォーマルサービスの情報を把握していく。		
	介護予防ケアマネジメント	(1)各町で介護予防体験講座を開催し、介護予防事業の普及啓発および地域に向いた相談窓口の機能を定着させる。 (2)住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう適切な介護予防ケアマネジメントを実施する。	(1)2名の専任を中心に介護予防支援業務を適正に実施する。 (2)介護予防コーディネーター・経験ある看護師を中心に要支援認定者・非該当者を連続して支援していく仕組みを充実させる。	(1)特定高齢者の実態の把握、生活機能の低下の危険性を早期に発見できるしくみを構築していく。 (2)介護予防の目的を本人・家族に説明し認識してもらえるよう努め生活機能改善・自立への意欲を引き出せるよう支援する。		